

10月7日(月) 9:00~12:30 A会場

地震発生の物理

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 雑賀 敦・澤崎 郁・川方裕則・山下 太

- 9:00 A11-01 グリーン関数の不確定性を考慮した強震動震源インバージョン法
八木勇治(筑波大生環)・深畑幸俊(京大防災研)
- 9:15 A11-02 エンベロープインバージョンを用いた本震-余震遷移時間域における高周波エネルギー輻射過程の推定
澤崎 郁(防災科研)・Bogdan Enescu(筑波大)
- 9:30 A11-03 Hybrid Back-projection法で明らかになった2010年チリ地震におけるアスペリティの破壊開始と終了時にみられる高周波励起イベント
奥脇 亮・八木勇治(筑波大生命環境)
- 9:45 A11-04 後続波も含めた遠地実体波による2010年チリ地震(Mw8.8)の震源過程
吉本昌弘・山中佳子(名大・環境)
- 10:00 A11-05 周期帯ごとに見た2011年東北地方太平洋沖地震の震源特性
久保久彦・岩田知孝・浅野公之(京大防災研)・青井 真(防災科研)
- 10:15 A11-06 2011年4月11日福島県浜通りの地震の際に湯ノ岳断層は井戸沢断層破壊の影響で破壊したのか?
田中美穂・岩田知孝・浅野公之・久保久彦(京大防災研)
- 10:30 A11-07 フィリピン海プレート内で発生した岐阜県美濃東部の地震(M5.6)の発生メカニズム
雑賀 敦・大久保慎人(東濃地震科研)
- 10:45 休憩
- 11:00 A11-08 断層透過弾性波のモニタリング-南アフリカ Cooke4 金鉱山
川方裕則(立命館大)・吉光奈奈(東大院情報学環・東大地震研)
中谷正生(東大地震研)・Joachim Philipp(GMuG)・土井一生(京大防災研)
直井 誠(東大地震研)・村上 理(立命館大)・Anthony Ward・Gilbert Morema(Seismogen)
Vlok Visser・Sifiso Khambule・Thabang Masakale(OHMS)・Alex Milev・Ray Durrheim(CSIR)
Luiz Ribeiro(Gold One)・Mike Ward(Seismogen)・小笠原宏(立命館大)
- 11:15 A11-09 南アフリカ金鉱山地下1km深において、荷重される断層上で観察された $-5.1 \leq Mw \leq -3.6$ の繰り返し地震
直井 誠・中谷正生(東大地震研)・大槻憲四郎(東北大)・Thabang Kgarume(CSIR)
Joachim Philipp(GMuG)・Thabang Masakale(OHMS)・Luiz Ribeiro(Seismogen)
森谷祐一(東北大)・村上 理(立命館大)・矢部康男(東北大)・川方裕則(立命館大)
Anthony Ward(Seismogen)・Ray Durrheim(CSIR)・小笠原宏(立命館大)
- 11:30 A11-10 AEのP波パルス幅よりもとめた、間隙水圧変化による誘発破壊の震源プロセス
増田幸治(産総研)
- 11:45 A11-11 Stick slip eventのはじまり
福山英一(防災科研)・溝口一生(電中研)・山下 太(防災科研)
川方裕則(立命館)・滝沢 茂(筑波大)
- 12:00 A11-12 メートルスケールにおける岩石摩擦の速度弱化
山下 太・福山英一(防災科研)・溝口一生(電中研)
滝沢 茂(筑波大)・川方裕則(立命館大)
- 12:15 A11-13 新しい断層帯の強度モデルと地殻の変形
飯尾能久(京大防災研)

10月7日(月) 9:00～12:30 B会場

地殻構造

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 中島淳一・汐見勝彦・蔵下英司・本多 亮

- 9:00 B11-01 CRS/MDRS法を用いた1998-2000年北海道日高衝突帯-反射法地震探査データの統合処理 II-
岩崎貴哉(東大地震研)・津村紀子(千葉大学)・伊藤谷生(帝京平成大学)
佐藤比呂志・蔵下英司・平田 直(東大地震研)・在田一則(北海道大学)・野田克也
藤原 明・阿部 進(地科研)・菊池伸輔(石油資源)・鈴木和子(シュランベルジュ)
- 9:15 B11-02 北海道で観測されるスラブ内地震の後続波と海洋性地殻の構造
椎名高裕・中島淳一・豊国源知・松澤 暢(東北大学)
- 9:30 B11-03 東北地方の三次元P波減衰構造と島弧マグマ活動
中島淳一・羽田周平(東北大)・速水絵里圭(気象庁)・内田直希
長谷川昭(東北大)・吉岡祥一(神戸大)・松澤 暢・海野徳仁(東北大)
- 9:45 B11-04 Outer-rise地震, プレート含水, 深発地震と長白山火山について
趙 大鵬(東北大学)・田 有(吉林大学)
- 10:00 B11-05 日本とその周辺を伝わるLg波
古村孝志(東大院情報学環)・Tae-Kyung Hong(延世大地球科学)
- 10:15 B11-06 東北日本背弧中絶りフト縁の大規模ウェッジスラストの形成
佐藤比呂志・石山達也・加藤直子(東大地震研)・阿部 進・白石和也
斎藤秀雄((株)地科研)・武田哲也・松原 誠(防災科研)・稲葉 充(石油資源開発(株))
- 10:30 B11-07 中部日本の下部地殻に見られる異方性構造の特徴
汐見勝彦・武田哲也・関口渉次(防災科研)
- 10:45 休憩
- 11:00 B11-08 制御震源地殻構造探査による濃尾地震震源域の地殻構造
蔵下英司・飯高 隆・岩崎貴哉(東大地震研)
津村紀子(千葉大理)・濃尾断層域構造探査解析グループ
- 11:15 B11-09 濃尾地震断層域におけるレシーバ関数解析
飯高 隆・五十嵐俊博・加藤愛太郎・岩崎貴哉(東大・地震研)
濃尾地震断層域合同地震観測グループ
- 11:30 B11-10 濃尾合同観測地域における地殻のS波プリッティングの空間分布
平松良浩・浦野 駿(金沢大学)・飯高 隆(東大地震研)・濃尾合同観測グループ
- 11:45 B11-11 首都圏下の減衰構造
パナヨトプロスヤニス・酒井慎一・中川茂樹
平田 直(東大地震研)・笠原敬司(地震予知振興会)
- 12:00 B11-12 千葉県北西部下の低速度領域での強い地震波散乱-3次元差分シミュレーションによる検討-
武村俊介・吉本和生(横浜市立大学)
- 12:15 B11-13 群発地震活動に伴った地殻変動に起因する異方性強度の時空間変化
本多 亮・行竹洋平・原田昌武・宮岡一樹・吉田明夫・里村幹夫(温地研)

10月7日(月) 9:00～12:30 C会場

津波

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 中野 優・綿田辰吾・館畑秀衛・大家義登

- 9:00 C11-01 津波即時予測のための海底強震計ネットワークの活用
中野 優 (JAMSTEC)
- 9:15 C11-02 レーザ海底流速計の構想
坂田正治 (東大院総合文化)
- 9:30 C11-03 WAVE GLIDER を用いたリアルタイム海底津波モニタリングシステムの開発
浜野洋三・杉岡裕子 (JAMSTEC)・藤浩 明 (京大理)
- 9:45 C11-04 2004 年紀伊半島沖地震津波, GPS 津波計の水平変位に注目した解析
館畑秀衛 (気象庁)・寺田幸博 (高知高専)・加藤照之 (東大地震研)
- 10:00 C11-05 海水圧縮性と密度成層を考慮した全世界海洋での津波速度変化
綿田辰吾 (東大地震研)
- 10:15 C11-06 分散波と浸水を含む東北地方太平洋沖地震の津波シミュレーション
齊藤竜彦・稲津大祐 (防災科研)
- 10:30 C11-07 浅水波方程式を用いた津波浸水予測のためのマニング粗度の改良
大家義登 (明治大先端数理)・中村和幸 (明治大総合数理)
- 10:45 休憩
- 11:00 C11-08 沖合津波記録を使った 2012 年 12 月 7 日に宮城・福島沖で発生した地震津波の波源逆解析
稲津大祐・齊藤竜彦 (防災科研)
- 11:15 C11-09 波源推定における津波痕跡高の依存性に関する研究
堀内滋人 (東北大工)・今井健太郎・今村文彦 (IRIDeS)
- 11:30 C11-10 バンドパスフィルターを通して見た津波遠方反射波
阿部邦昭 (なし)・林 豊・岡田正実 (気象研)
- 11:45 C11-11 東京湾内外における津波の挙動
瀧川 朗・佐竹健治・室谷智子 (東大地震研)
- 12:00 C11-12 2011 年東日本巨大地震前後の三陸沖津波
羽鳥徳太郎 (所属なし)
- 12:15 C11-13 延宝 5 年 (1677) 房総沖津波の経験は元禄 16 年 (1703) 関東地震の津波死者を減らすのに役立ったか?
都司嘉宣 (深田地質研究所)

10 月 7 日 (月) 9:00 ~ 12:30 D 会場

地震教育・地震学史, 地震計測・処理システム

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 橋本 学・大久保寛・卜部 卓・植平賢司

地震教育・地震学史

- 9:00 D11-01 「外」とのかかわりで生まれる地震防災～しずおか防災検討会の活動～
美澤綾子 (静岡高)・林 能成 (関西大社会安全)
- 9:15 D11-02 2011 年地震学会特別シンポジウムアンケート調査の分析
大木聖子 (慶應環境情報)
- 9:30 D11-03 距離に関する大森係数について
加藤 護 (京大人間環境学)・岡本義雄 (大阪教育大)

- 9:45 D11-04 より良い地震ハザード評価の作り方・伝え方
橋本 学・福島 洋 (京大防災研)・鷺谷 威 (名大減災セ)
- 地震計測・処理システム**
- 10:00 D11-05 福島県浜通り地域の内陸地震発生時における地磁気変化の観測
香取勇太 (首都大東京)・# 大久保寛 (首都大東京)・波頭経裕 (超電導工研)
塚本 晃 (超電導工研)・田辺圭一 (超電導工研)・大西信人 (テラテクニカ)
古川 克 (テラテクニカ)・磯上慎二 (福島高専)・竹内伸直 (東北大)
- 10:15 D11-06 CO₂ 地中貯留サイトにおける微小振動観測と観測システムの検知能力評価
高岸万紀子・橋本励 (RITE)・堀川滋雄 (サンコー C)・楠瀬勤一郎 (AIST)・薛 自求 (RITE)
- 10:30 D11-07 タイムリバーサルによる震源振動の解析
菊池年晃 (防衛大)
- 10:45 休憩
- 11:00 D11-08 レーザーひずみ偏差計の開発 ～真空中の性能評価～
出口雄大・新谷昌人 (東大地震研)
- 11:15 D11-09 人間以上に高精度の地震波自動読み取りシステムの開発 (その5)
堀内茂木・堀内優子 ((株) ホームサイズモメータ)・飯尾能久・高田陽一郎 (京大防災研)
澤田義博・関根秀太郎 (地震予知総合振興会)・中山貴史・平原 聡・河野俊夫・中島淳一
岡田知己・海野徳仁・長谷川昭 (東北大学)・小原一成・加藤愛太郎 (東大地震研)
中野 優・中村武史・高橋成実 (JAMSTEC)
- 11:30 D11-10 JDXnet/SINET4 上に実現した観測データ中継システム
卜部 卓・鷹野 澄・鶴岡 弘・中川茂樹 (東大地震研)
- 11:45 D11-11 ICT を用いた新しい三陸沖海底光ケーブル式地震津波観測システムの開発
篠原雅尚・山田知朗・酒井慎一・塩原 肇 (東大地震研)・金沢敏彦 (防災科研)
- 12:00 D11-12 日本海溝海底地震津波観測網の設置 ～房総沖ルート～
植平賢司・金沢敏彦・野口伸一・功刀 卓・汐見勝彦・青井 真・関口渉次
松本拓己・岡田義光 (防災科研)・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
- 12:15 D11-13 超深海域での海底地震観測への新たな挑戦
塩原 肇・篠原雅尚 (東大地震研)・伊藤亜妃・杉岡裕子 (JAMSTEC)

10月7日(月) 13:30～14:50 A会場

若手学術奨励賞記念講演

(講演時間 20分・質疑応答 5分)

座長 八木勇治

- 13:30 会長挨拶
- 13:35 A12-01* 強震動生成過程の解明と強震動予測の高度化に関する研究
浅野公之 (京大防災研)
- 14:00 A12-02* 数理物理的視野に立った動的地震破壊過程の包括的理解
鈴木岳人 (東大理)
- 14:25 A12-03* 広帯域地震波・津波のモニタリングとシミュレーションの融合研究
前田拓人 (東大地震研)

*は招待講演

10月7日(月) 14:50～15:00 A会場

ジョン・ミルン没後100年特別ブースにおけるドキュメンタリービデオ上映の紹介

10月7日(月) 15:00～17:00 A会場

特別シンポジウム(教育を通じた地震災害軽減の現状と課題)

(講演時間18分・質疑応答2分)

座長 津田健一

15:00		開会挨拶	伊東明彦(宇都宮大)
15:05	S-01*	釜石の奇跡と悲劇	# 末永正志(元釜石市消防防災課(現岩手県交通安全協会))
15:25	S-02*	防災教育の実践-想定被災地から	# 杉山隆通(静岡県危機管理情報課)
15:45	S-03*	学校での地震教育, 地震防災・減災教育の現状と課題~「理科」などの教科教育と“安全教育”などの教科外教育との関係~	# 根本泰雄(桜美林大)
16:05	S-04*	納得しわがことと思い行動を誘発する防災教育のために研究者のできること	# 福和伸夫(名古屋大)
16:25		総合討論	
		進行: 中川和之(時事通信社)・香川敬生(鳥取大) 指定討論者: 武村雅之(名古屋大)	
16:55		閉会挨拶	加藤照之(東大地震研)

10月8日(火) 9:00～12:15 A会場

地震発生の物理

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 高田陽一郎・山田卓司・麻生尚文・内田直希

9:00	A21-01	地震メカニズムトモグラフィー法によるバーゼル地熱貯留槽での間隙流体圧分布の時間発展解析	# 寺川寿子(名大環境)・Stephen Miller(ボン大学)
9:15	A21-02	丹沢山地のクラスター地震活動: 震源の移動と小応力降下量	# 山田卓司(北大理地震火山センター)・行竹洋平(神奈川県温泉地学研究所)
9:30	A21-03	S-コーダ波を用いた応力降下量の解析: 北海道南東沖を対象として	# 齋藤 悠・山田卓司(北大理地震火山センター)
9:45	A21-04	跡津川断層周辺における微小地震のP軸の空間変化とその原因	# 高田陽一郎(京大防災研)・勝俣 啓(北大地震火山セ)
		片尾 浩(京大防災研)・小菅正裕(弘前大理工)・飯尾能久(京大防災研)	
		鷲谷 威(名大減災連携セ)・歪集中帯大学合同地震観測グループ	
10:00	A21-05	2007年能登半島地震発生後の余震域の拡大	# 加藤愛太郎・小原一成(東大地震研)

*は招待講演

- 10:15 A21-06 日本海溝付近の津波地震発生領域での歪み蓄積のプロセス
都筑基博・小山順二 (北大理)
- 10:30 休憩
- 10:45 A21-07 深部低周波微動エピソードの活動様式
小原一成 (東大地震研)・松澤孝紀・田中佐千子 (防災科研)・前田拓人 (東大地震研)
- 11:00 A21-08 深部低周波地震はマグマの冷却によって発生するか
麻生尚文・井出 哲 (東大理)・Victor C. Tsai (カリフォルニア工科大)
- 11:15 A21-09 遠地地震のラブ波による深部低周波微動の動的トリガリング
Bogdan Enescu (筑波大学)・Kevin Chao・小原一成 (東大地震研)
Zhigang Peng (Gatech, USA)・松澤孝紀 (防災科研)
- 11:30 A21-10 Non-volcanic tremor characteristics in Taiwan and a case study of their stress interaction with local earthquakes
Kevin Chao, Kazushige Obara (ERI, Univ. Tokyo), Satoru Nagai (Nagoya Univ.)
Naoshi Hirata (ERI, Univ. Tokyo), Hsin-Chieh Pu (CWB, Taiwan)
Zhigang Peng (Georgia Tech, USA), Ya-Ju Hsu (Academia Sinica, Taiwan)
Aaron Wech (USGS-Alaska, USA), Kuo-En Ching (Cheng Kung Univ., Taiwan)
Peih-Lin Leu, Tzay-Chyn Shin (CWB, Taiwan)
- 11:45 A21-11 東北日本沈み込み帯における周期的スロースリップ
内田直希・飯沼卓史 (東北大理)・Robert M. Nadeau
Roland Bürgmann (UC Berkeley)・日野亮太 (東北大理)
- 12:00 A21-12 2011年東北地方太平洋沖地震に先立つ大規模なスロースリップイベント
横田裕輔・# 額綱一起 (東大地震研)

10月8日(火) 9:00～12:15 B会場

地殻構造

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 金田謙太郎・高橋成実・西澤あずさ・伊藤 忍

- 9:00 B21-01 弾性波アクロス信号の観測によって得られた東海地域における地殻上部の地震波速度の経年変化
國友孝洋 (名大環境)
- 9:15 B21-02 [2012FIST] 富士川河口断層帯～糸魚川-静岡構造線の深部地殻構造
阿部信太郎 (産総研)・# 伊藤谷生 (帝京平成大)・狩野謙一 (静岡大)
池田安隆 (東京大)・津村紀子 (千葉大)・藤原 明 (GEOSYS)
武田哲也 (防災科研)・岩崎貴哉・佐藤比呂志 (東京大)・加藤 潔 (駒沢大)
佐藤 剛・小森次郎 (帝京平成大)・渡辺俊樹 (名古屋大)・阿部 進 (地科研)
山北 聡 (宮崎大)・小田原啓 (温泉地学研)・松浦芳樹 (ジーベック)
- 9:30 B21-03 小笠原海台南東方海域における地殻構造探査結果 - 下部地殻内速度逆転及び最上部マントル内反射面の分布 -
金田謙太郎・西澤あずさ・及川光弘・森下泰成 (海上保安庁)
- 9:45 B21-04 伊豆小笠原島弧の地殻成長と大陸化
高橋成実・山下幹也・小平秀一・佐藤 壮・野 徹雄・三浦誠一
海宝由佳・尾鼻浩一郎・高橋 努・金田義行・巽 好幸 (JAMSTEC)
- 10:00 B21-05 近畿地方北部における地殻内S波反射構造の推定 (2)
青木 将・飯尾能久・片尾 浩・三浦 勉・米田 格・澤田麻沙代 (京大防災研)

- 10:15 B21-06 紀伊半島における三次元地震波減衰構造の推定
梅山恵理・津村紀子 (千葉大理)・蔵下英司・飯高 隆・酒井慎一
加藤愛太郎 (東大地震研)・雑賀 敦 (東濃地震科研)
- 10:30 休憩
- 10:45 B21-07 中央構造線断層帯 (石鎚断層・岡村断層) の地下構造調査 - 反射法結果 -
山口和雄・佐藤隆司・小泉尚嗣 (産総研)・今吉 隆・末廣匡基 (阪神コン)
- 11:00 B21-08 西南日本の三次元地震波減衰構造
小松正直・小田 仁 (岡大院自)
- 11:15 B21-09 南西諸島海溝南西部における前弧域の構造
西澤あずさ・金田謙太郎・及川光弘・堀内大嗣・藤岡ゆかり (海上保安庁)
- 11:30 B21-10 VERA 石垣島観測局における地震波干渉法の予備実験
伊藤 忍・名和一成・大滝壽樹・宮川歩夢・山谷祐介 (産総研)
- 11:45 B21-11 様々な沈み込み帯における深部低周波微動を利用した地震波減衰推定
矢部 優 (東大理)・Annemarie Baltay (USGS)
井出 哲 (東大理)・Gregory Beroza (Stanford Univ.)
- 12:00 B21-12 一次元速度構造とコーダ
江本賢太郎・齊藤竜彦・汐見勝彦 (防災科研)

10月8日(火) 9:00 ~ 12:15 C会場

JFAST: 海溝軸での巨大地震性滑りの解明

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 James Mori・小平秀一・東 龍介・田所敬一

- 9:00 C21-01 Japan Trench Fast Drilling Project (JFAST)
: Investigations of the Large Slip during the 2011 Tohoku-oki Earthquake
James Mori (DPRI, Kyoto Univ.), Expedition 343 Scientists
- 9:15 C21-02* 日本海溝緊急掘削 (JFAST) で明らかになった震源域プレート境界断層の特徴と高速摩擦特性
氏家恒太郎・田中英恵・斎藤 翼 (筑波大)
堤 昭人・James Mori (京大)・亀田 純 (東大)
- 9:30 C21-03* JFAST 掘削孔に設置した温度計アレイによる断層摩擦発熱検出
加納靖之・Jim Mori (京大防災研)・Patrick Fulton・Emily Brodsky (UCSC)
江口暢久・Sean Tozcko・許 正憲・難波康広・笠谷貴文 (JAMSTEC)
伊藤喜宏 (東北大)・第 343/343T 次航海乗船研究者
- 9:45 C21-04* 日本海溝底のタービダイトを用いた地震発生履歴の復元
池原 研・宇佐見和子 (産総研地質情報)・金松敏也 (JAMSTEC)・長橋良隆 (福島大)
Strasser, M. (ETZ)・Hink, F.・Wefer, G. (MARUM)・SO219A 及び MR12-E01 乗船者一同
- 10:00 C21-05 海溝軸に至る巨大地震性すべりの地震学的証拠
小平秀一・中村恭之・三浦誠一・笠谷貴史・金松敏也 (JAMSTEC)・池原 研 (産総研)
- 10:15 C21-06 2011 年東北地震震源域の構造不均質
山本揚二郎・尾鼻浩一郎 (JAMSTEC)・町田祐弥 (東大地震研)
中東和夫 (神戸大)・篠原雅尚 (東大地震研)・鈴木健介 (JAMSTEC)・伊藤喜宏
日野亮太 (東北大)・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)・村井芳夫 (北大)
佐藤利典 (千葉大)・植平賢司 (防災科研)・八木原寛 (鹿大)・平田賢治
対馬弘晃・山崎 明 (気象研)・杉岡裕子・伊藤亜妃・末次大輔 (JAMSTEC)

*は招待講演

- 10:30 休憩
- 10:45 C21-07 2011年東北沖地震発生域海溝軸付近における比抵抗構造
市原 寛・笠谷貴史 (JAMSTEC)・馬場聖至・山野 誠 (東大地震研)
- 11:00 C21-08 陸側プレート前縁部構造不均質と海溝近傍の地震時すべり量の関係性
東 龍介・日野亮太 (東北大災害研)・伊藤喜宏 (東北大地震予セ)
望月公廣・高波鐵夫・篠原雅尚 (東大地震研)・村井芳夫 (北大地震セ)
佐藤利典 (千葉大)・植平賢司・金沢敏彦 (防災科研)
- 11:15 C21-09 南海トラフ広域地震防災研究プロジェクト
金田義行 (JAMSTEC)・福和伸夫 (名古屋大学)・古村孝志 (東京大学)
南海トラフ広域地震防災研究プロジェクトチーム
- 11:30 C21-10 南海トラフ軸近傍およびフィリピン海プレートへの海底地殻変動観測点の新設
田所敬一・安田健二・藤井越百・渡部 豪・永井 悟 (名古屋大学環境学研究所)
- 11:45 C21-11 南海トラフ沈み込み帯の間欠的な深部流体上昇
西尾嘉朗・井尻 暁 (JAMSTEC)・土岐知弘 (琉球大)・諸野祐樹・稲垣史生 (JAMSTEC)
- 12:00 C21-12 ニュージーランド・ヒ克蘭ギ沈み込み帯における海底圧力計を用いたスロースリップ観測
伊藤喜宏 (東北大理予知セ)・望月公廣 (東大地震研)・日野亮太
木戸元之 (東北大災害研)・塩原 肇 (東大地震研)・鈴木秀市 (東北大理予知セ)
八木健夫・篠原雅尚・小原一成 (東大地震研)・Laura Wallace (テキサス大)
Stuart Henrys・Bill Fry・Stephen Bannister (GNS Science)

10月8日(火) 9:00～12:15 D会場

活断層・歴史地震

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 松浦律子・村岸 純・遠田晋次・鎌滝孝信

- 9:00 D21-01 横浜の関東大震災を歩く - 現代によみがえる90年前の記憶 -
武村雅之 (名大減災セ)
- 9:15 D21-02 史料に記された1703年元禄関東地震津波による砂の流入
村岸 純 (東大地震研)・佐竹健治 (東大地震研)
- 9:30 D21-03 1605(慶長九)年伊豆 - 小笠原海溝巨大地震と1614(慶長十九)年南海トラフ地震という作業
仮説
石橋克彦 (元神戸大)・原田智也 (東大地震研)
- 9:45 D21-04 浜松平野の過去4千年間の津波堆積物: 超巨大津波は見つかるか?
藤原 治 (産総研活断層セ)・小野映介 (新潟大学教育)
佐藤善輝 (九州大学大学院)・市川清士 ((株)阪神コンサル)
- 10:00 D21-05 歴史地震の震源域位置および規模の系統的再検討 一第11報一 (八戸沖など27地震)
松浦律子 ((公財)地震予知振興会)・中村 操 (防災情報サ)
- 10:15 D21-06 日本被害地震総覧に基づく誘発地震の抽出
青柳恭平 (電中研)・奥澤康一・飯田高弘 (セレス)
- 10:30 休憩
- 10:45 D21-07 活断層の定義と内陸地震震源としての諸問題
遠田晋次 (東北大災害研)

- 11:00 D21-08 サロベツ断層帯海域延長部に分布する断層の活動性について
阿部信太郎 (産総研)・内田康人 (道立研究機構)
荒井良祐 (川崎地質)・岡村行信 (産総研)
- 11:15 D21-09 秋田県沿岸における津波堆積物調査
鎌滝孝信 (秋田大地創セ)・細矢卓志 (中央開発技術セ)
- 11:30 D21-10 櫛挽断層は深谷断層のバックスラストか? -断層の最大変位速度を用いて-
安藤広一 (首都大学東京)
- 11:45 D21-11 立川断層の巨大トレンチ調査と3次元反射法地震探査
石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)・東郷正美 (法政大)・鈴木毅彦 (首都大学東京)
廣内大助 (信州大)・川崎慎治・阿部 進 (地科研)・郡谷順英・小俣雅彦 (クレアリア)
- 12:00 D21-12 1891年濃尾地震災害の再検討 (1)「岐阜県下震災景況」にもとづく地域の被害
木股文昭 (東濃地震科学研究所)

10月8日(火) 13:15~17:00 A会場

地震発生の物理, 地震活動

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 浦田優美・野田博之・井出 哲・生田領野

地震発生の物理

- 13:15 A22-01 メキシコ、Guerrero 及び Oaxaca で発生する長期的スロースリップイベントのモデル化
芝崎文一郎 (建築研)・Fabric Cotton (ジョセフ・フーリエ大学)・松澤孝紀 (防災科研)
- 13:30 A22-02 熱流体・熱化学効果を考慮したスロー地震のモデル化
山下輝夫 (東大地震研)・Alexandre Schubnel (ENS, Paris)
- 13:45 A22-03 熱・流体圧・空隙生成系の振る舞いを支配する関数の導出とその応用
鈴木岳人・山下輝夫 (東大地震研)
- 14:00 A22-04 震源核の加速が $1/t_f$ より遅いと、長期的滑り速度の遅い断層ほど地震直前のモーメント解放速度が小さくなる可能性
野田博之 (JAMSTEC)・中谷正生 (東大地震研)・堀 高峰 (JAMSTEC)
- 14:15 A22-05 小繰り返し地震震源域における地震活動の変化から推定された摩擦構成則と地震発生過程
有吉慶介・金田義行 (JAMSTEC)・松澤 暢・日野亮太・長谷川昭 (東北大学 AOB)
- 14:30 A22-06 速度状態依存摩擦則の構成パラメータの変位量・載荷速度依存性
浦田優美・山下 太・福山英一 (防災科研)
- 14:45 A22-07 Possible Dynamic Rupture Process of Shallow Dip-Slip Earthquakes: A Supplementary Experimental Study
Koji Uenishi, Takayuki Takahashi, Keisho Yamagami (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
Kotaro Akakabe (Fac. Eng., Univ. Tokyo), Koji Fujimoto (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
- 15:00 休憩
- 15:15 A22-08 地殻応力の深さ依存性と震源破壊過程についての考察
宮武 隆 (東大地震研)
- 15:30 A22-09 Do All Large Strike-slip Earthquakes Have Supershear Ruptures?
Dun Wang (東大地震研)・Jim Mori (京大防災研)・額額一起 (東大地震研)
- 15:45 A22-10 遠地実体波を用いた地震波エネルギーの推定
木内亮太・モリジェームズ (京大防災研)

- 16:00 A22-11 地震現象の多様性を支配する地震の階層性の地域性
井出 哲 (東大理)

地震活動

- 16:15 A22-12 Seismicity Near the Trench
#Miaki Ishii (Harvard Univ.)・Eric Kiser (Rice Univ.)・Petros Bogiatzis (Harvard Univ.)
- 16:30 A22-13 東北沖地震 (Mw9.0) が 2011 年にトリガーされた理由
佐藤魂夫 (弘前大理工)・平塚晋也 (北大地震火山セ)・Jim Mori (京大防災研)
- 16:45 A22-14 地震カタログによる巨大地震リスクの検討—すべり欠損の視点から—
生田領野・黒川祐梨・三井雄太 (静岡大理工)

10月8日 (火) 13:15 ~ 17:00 B会場

地盤構造・地盤震動, 強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 松島信一・小村健太郎・後藤浩之・香川敬生

地盤構造・地盤震動

- 13:15 B22-01 微動アレー観測における Love 波の検出事例
大堀道広 (福井大原子力工学研)
- 13:30 B22-02 Estimation of rayleigh wave phase velocity using sensors in a line based on the discrete formula of CCF
#Xinrui Zhang, Hitoshi Morikawa
- 13:45 B22-03 微動アレー観測による立川断層帯近傍における地下構造の推定
佐口浩一郎・地元孝輔・山中浩明 (東京工業大学)
- 14:00 B22-04 常時微動測定による福岡市の浅部地盤構造の推定
檜橋秀衛 (九産大・工学部)
- 14:15 B22-05 不整形な基盤の形状と微動の H/V スペクトル比の関係について - その 1 盆地端部の形状 -
松島信一 (京大防災研)・F. De Martin (フランス地質調査所)
川瀬 博 (京大防災研)・F. J. Sánchez-Sesma (メキシコ自治大)・廣川貴則 (山下設計)
- 14:30 B22-06 孔井内物理検層による地下深部岩盤物性 - 岩質による物性分布の特徴 -
小村健太郎 (防災科研)
- 14:45 B22-07 非線形応答指標 DNL によるサイトの非線形応答特性と地盤情報との関係
野口科子 (電中研)・佐藤浩章 (電中研)・笹谷 努
- 15:00 休憩
- 15:15 B22-08 微動観測に関する知見・データの共有化 ~ 微動観測による沼津市街地における揺れ易さ分布の推定 ~
山田雅行 (NEWJEC)・微動の会有志
- 15:30 B22-09 地震波速度の鉛直勾配を考慮した堆積層構造のモデル化 - 長周期地震動のより正確な評価を目指して -
吉本和生・武村俊介 (横浜市大)
- 15:45 B22-10 非減衰 2 層系伝達関数列による多層系地盤伝達関数の級数展開
後藤浩之 (京大防災研)

強震動・地震災害

- 16:00 B22-11 高知平野における常時微動観測 H/V スペクトル比解析から推定された表層 S 波速度の水平方向の不均質性
大石佑輔・高橋宏和・山品匡史・久保篤規 (高知大理)
- 16:15 B22-12 地震時震度増幅 (ゆれやすさ) 分布の推定 - 岐阜県東濃地域の場合 -
大久保慎人・雑賀 敦・本多 亮・木股文昭 (東濃地震科研)
- 16:30 B22-13 2011 年東日本大震災に伴う人間被害の激甚性 既往地震群との対比でみる年令等依存性 (3)
太田 裕 (東濃地震科研)・小山真紀 (京大院工学研)
- 16:45 B22-14 1943 年鳥取地震による市街地の被害と常時微動による地盤震動特性
香川敬生・野口竜也・朝日秀伍・石田勇介・浅井秀子・西田良平 (鳥取大院工)

10月8日(火) 13:15～17:00 C会場

実践的な地震予測可能性研究にむけて、地殻変動・GPS・重力

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 鶴岡 弘・井元政二郎・近江崇宏・水藤 尚

実践的な地震予測可能性研究にむけて

- 13:15 C22-01 自然地震に伴うマイクロクラックについて
藤縄幸雄 (藤縄研)・野田洋一 (テラテクニカ)
高橋耕三 (元通総研)・小林真二・高松謙一・棗田次郎 (OEG)
- 13:30 C22-02 1999 年イズミット地震破壊域における電気的状態の変化
本蔵義守 (東工大火山流体)・大志万直人 (京大防災研)・松島政貴 (東工大理工)
Serif Baris (Kocaeli U.)・Mustafa Tuncer (Istanbul U.)
Bulent Tank・Cengiz Celik・Elif Tolak Ciftci (Bogazici U.)
- 13:45 C22-03 震源決定における重み付き尤度の適用について
井元政二郎 (防災科研)
- 14:00 C22-04 マッチスコアの評価性能について
鶴岡 弘 (東大地震研)
- 14:15 C22-05 テスト領域の空間解像度が評価に与える影響
平田 直 (東大地震研)
- 14:30 C22-06 東北地方太平洋沖地震を踏まえた地震ハザード評価の改良に向けた検討
藤原広行・森川信之 (防災科研)・奥村俊彦 (清水建設)
- 14:45 C22-07 南海トラフの地震活動の長期評価改訂を反映した確率論的地震動ハザード評価
奥村俊彦・藤川 智・森井雄史 (清水建設)・藤原広行・森川信之 (防災科研)
- 15:00 休憩
- 15:15 C22-08* Testing the Uniform California Earthquake Rupture Forecast (UCERF2) and the National Seismic Hazard Mapping Project
Danijel Schorlemmer (GFZ Potsdam), Max Schneider (GFZ Potsdam)
- 15:30 C22-09 前震型地震のリアルタイム確率識別
尾形良彦 (統計数理研究所)
- 15:45 C22-10 ETAS モデルを用いた本震後の余震の確率予測
近江崇宏 (東大生産研)・尾形良彦 (統数研)
平田祥人 (東大生産研)・合原一幸 (東大生産研)

*は招待講演

- 16:00 C22-11 前震の経験則に基づく地震発生予測－伊豆地域への適用－
前田憲二・弘瀬冬樹（気象研）

地殻変動・GPS・重力

- 16:15 C22-12 海底・海底孔内地震・傾斜記録に見られる潮汐応答について
荒木英一郎・北田数也・木村俊則・川口勝義・金田義行（JAMSTEC）
- 16:30 C22-13 東北地方太平洋沿岸の上下変動に関する考察
鷺谷 威（名大減災セ）
- 16:45 C22-14 東北地方太平洋沖地震後の東海地方の地殻変動
水藤 尚（国土地理院）

10月8日（火）13:15～15:00 D会場

地球及び惑星の深部構造と物性

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 吉澤和範・志藤あずさ

- 13:15 D22-01 東北日本弧－千島弧接合部周辺の温度構造
森重 学（JAMSTEC）・Peter E. van Keken（ミシガン大学）
- 13:30 D22-02 Decoupling of Pacific subduction zone guided waves beneath central Japan
: Evidence for thin slab
Simanchal Padhy（CIDIR, The Univ. of Tokyo; ERI, The Univ. of Tokyo; NGRI, India）
Takashi Furumura（CIDIR, The Univ. of Tokyo; ERI, The Univ. of Tokyo）
Takuto Maeda（ERI, The Univ. of Tokyo）
- 13:45 D22-03 Comparison of P-, SV- and SH-wave velocity models below Japan and Northeast China
Lewis Schardong, Nozomu Takeuchi, Hitoshi Kawakatsu
NECESSArray Project Team（ERI, Univ. Tokyo）
- 14:00 D22-04 豪州大陸下のリソスフェア－アセノスフェア境界の地震学的検出
吉澤和範（北大理）・B.L.N. Kennett（RSES, ANU）
- 14:15 D22-05 非線形波形フィッティングを用いた表面波振幅解析による北米大陸の減衰構造
浜田広太（北大理）・吉澤和範（北大理）
- 14:30 D22-06 「ふつうの海洋マントル」プロジェクトによって明らかになった海洋マントルの構造：序報
一瀬建日・塩原 肇（東大地震研）・杉岡裕子・伊藤亜妃（JAMSTEC）
竹尾明子・歌田久司・川勝 均（東大地震研）・利根川貴志・田中 聡（JAMSTEC）
- 14:45 D22-07 フィリピン海プレートを伝播する Po/So 波
志藤あずさ（京大地球熱学）・末次大輔（JAMSTEC）・古村孝志（東大地震研）

10月8日（火）15:15～17:00 D会場

テクトニクス，地震一般・その他

（講演時間12分・質疑応答3分）

座長 松浦充宏・野田朱美・小林直樹

テクトニクス

- 15:15 D22-08 沈み込み帯のプレート境界強度とテクトニック応力場
松浦充宏（統計数理研）・野田朱美（構造計画研）・寺川寿子（名大環境）

- 15:30 D22-09 いわき周辺の正断層型応力場の形成に関するテクトニックローディング・シミュレーション
野田朱美 (構造計画研)・川里 健・渡邊智美 (日本原電)
澤飯明広 (構造計画研)・松浦充宏 (統計数理研)
- 15:45 D22-10 2011 年東北地方太平洋沖地震における震源近傍深部での初期応力場とすべり分布の関連
千葉慶太・飯尾能久・深畑幸俊 (京大防災研)・北佐枝子 (防災科研)
- 16:00 D22-11 伊豆火山弧の背弧拡大の開始に伴う沈み込んだ先のフィリピン海プレートの変形
篠島僚平 (名大環境)
- 地震一般・その他**
- 16:15 D22-12 Lamb 波の定常励起
西田 究 (東大地震研)・小林直樹 (JAXA)・深尾良夫 (JAMSTEC)
- 16:30 D22-13 高モード内部潮汐波の地震学的イメージング
深尾良夫・山下幹也・三浦誠一・小平秀一・勝又勝郎 (JAMSTEC)
羽角華奈子 (大成建設)・日比谷紀之 (東大理)
- 16:45 D22-14 脈動で探る火星内部構造
小林直樹 (ISAS/JAXA)・西田 究 (地震研)・須田直樹 (広島大)・辻 健 (九州大)

10 月 9 日 (水) 9:00 ~ 12:30 A 会場

地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 五十嵐俊博・弘瀬冬樹・浅野陽一・Tomoko Yano

- 9:00 A31-01 南海トラフの地震活動の長期評価 (第二版) について
吉田康宏・新井雅史 (文科省)・佐竹健治 (東大地震研)
- 9:15 A31-02 平成 23 年東北地方太平洋沖地震発生後の関東地方周辺の小繰り返し地震活動
五十嵐俊博 (東大地震研)
- 9:30 A31-03 テンプレートイベントを用いた日本海溝・千島海溝沿いの小地震の断層タイプの分類と震源再決定
中村 航・内田直希・松澤 暢 (東北大・理)
- 9:45 A31-04 時間差グリッドサーチ法を用いて求めた 1933 年昭和三陸地震の震源域と断層面
古川信雄 (建築研)・原田智也 (東大地震研)
- 10:00 A31-05 茨城県沖稠密 OBS アレイを用いた沈み込む海山周辺での地震活動検出
仲谷幸浩・望月公廣・篠原雅尚・山田知朗 (東大地震研)
日野亮太・伊藤喜宏 (東北大院理)・村井芳夫 (北大院理)・佐藤利典 (千葉大院理)
- 10:15 A31-06 房総半島沖のプレート間すべりによる応力変化と地震活動の関係
弘瀬冬樹・前田憲二 (気象研)
- 10:30 休憩
- 10:45 A31-07 海底地震観測により捉えられた日向灘における浅部低周波微動活動 (序報)
山下裕亮 (九大地震火山セ)・八木原寛 (鹿大南西島弧)・清水 洋・内田和也
神蘭めぐみ・中元真美・福井海世・藤田詩織・相澤広記 (九大地震火山セ)
宮町宏樹・平野舟一郎・有門那津美 (鹿大南西島弧)・馬越孝道 (長崎大院環境)
山田知朗 (東大地震研)・兼原壽生・青島 隆 (長崎大水産)
- 11:00 A31-08 南西諸島域における超低周波地震の検出
浅野陽一・松澤孝紀 (防災科研)・小原一成 (東大地震研)

- 11:15 A31-09 深部超低周波地震と非火山性微動の活動様式の比較
仁里太郎・須田直樹 (広島大・院理)・松澤孝紀 (防災科研)
- 11:30 A31-10 熊本県八代海における誘発微動の深さ推定
宮崎真大・松本 聡・清水 洋 (九州大・地震火山センター)
- 11:45 A31-11 西日本の地震活動及び地殻変動に見られる約9年周期の変動 (第一報)
田中愛幸 (東大地震研)
- 12:00 A31-12 Japan Unified High-Resolution Relocated Catalog for Earthquakes (JUICE)
ヤノ トモコ エリザベス・武田哲也・汐見勝彦 (防災科研)
- 12:15 A31-13 Magnitude-Dependent Seismic Quiescence Observed at Depth in the Tokai Section of the
Philippine Plate
Deborah Smith・Selwyn I Sacks (DTM, Carnegie Inst.)
Tetsuo Takanami (ERI, Univ. Tokyo)

10月9日(水) 9:00～12:30 B会場

強震動・地震災害

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 森川信之・池浦友則・植竹富一・浅野公之

- 9:00 B31-01 ヒマラヤ地域における建物振動観測
鷹野 澄・額額一起・増田 徹 (東大地震研)・伊藤貴盛 (慶応大)
Pradeep Kumar Ramancharla・Raju Sangam・Narender Bodige
Hima Chandan Dasari (IIT-H)
- 9:15 B31-02 入力地震波動場に基づく、中層鉄筋コンクリートビルと木造建物の地震応答
飯田昌弘 (東大地震研)・飯場正紀 (建築研)・楠 浩一 (横浜国立大工)
宮本裕司 (阪大工)・五十田博 (信州大工)・勅使川原正臣 (名大環境)
- 9:30 B31-03 Characteristics of Strong Ground Motions and Fragility Curves of Buildings during the 2011
Tohoku Earthquake
Hao Wu, Kazuaki Masaki, Kojiro Irikura, Susumu Kurahashi (AIT)
- 9:45 B31-04 地震ハザード評価のための地震動予測式のばらつきに関する検討
森川信之・藤原広行 (防災科研)
- 10:00 B31-05 Evaluating Japanese Ground Motion Prediction Equations
Sum Mak, Robert Clements, Danijel Schorlemmer (GFZ-Potsdam)
- 10:15 B31-06 強震動の距離減衰特性における非一様性の検出
池浦友則 (鹿島技研)
- 10:30 休憩
- 10:45 B31-07 地震波干渉法に基づく鉛直ボアホール記録の解析による堆積層の地震波減衰特性の推定
福嶋林太郎・中原 恒・西村太志 (東北大学)
- 11:00 B31-08 観測記録に基づく短周期帯に見られる震源の放射特性と距離の関係
元木健太郎・加藤研一・池田 孝 (小堀鐸二研究所)
- 11:15 B31-09 茨城県沖の地震による東京湾岸の長周期地震動
植竹富一 (東京電力)
- 11:30 B31-10 2011年茨城県沖地震における大阪堆積盆地への長周期地震動伝播
佐藤佳世子・岩田知孝・浅野公之・久保久彦 (京大防災研)・青井 真 (防災科研)

- 11:45 B31-11 大阪堆積盆地における 2013 年淡路島の地震 (Mw5.8) の長周期地震動シミュレーション
浅野公之・関口春子・岩田知孝 (京大防災研)・吉見雅行 (産総研/現・文部科学省)
林田拓己 (建築研)・竿本英貴・堀川晴央 (産総研)
- 12:00 B31-12 沈み込み型巨大地震からの長周期強震動 (2 - 20 秒) の評価の考え方
入倉孝次郎 (愛知工大)・倉橋 奨 (愛知工大)
- 12:15 B31-13 疑似点震源モデルによる 2003 年十勝沖地震の強震動シミュレーション
野津 厚 (港空研)

10月9日(水) 9:00 ~ 12:30 C会場

地殻変動・GPS・重力

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 横田裕輔・木戸元之・中尾 茂・橋間昭徳

- 9:00 C31-01 測距信号の変形が海中音響測距読み取りに及ぼす影響について
望月将志・浅田 昭 (東大生産研)・佐藤まりこ (海上保安庁)
- 9:15 C31-02 東北地方太平洋沖地震前の海陸地殻変動データによる南海トラフ沿いのバックスリップモデルの推定
横田裕輔・渡邊俊一・氏原直人・佐藤まりこ (海洋情報部)
石川直史 (海上保安大学校)・望月将志・浅田 昭 (東大生産研)
- 9:30 C31-03 南海トラフにおける海底地殻変動観測の経過報告とトラフ軸近傍への展開に向けた課題と展望
佐藤まりこ・渡邊俊一・横田裕輔・氏原直人 (海洋情報部)
石川直史 (海上保安大学校)・望月将志・浅田 昭 (東大生産研)
- 9:45 C31-04 2011 年東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動
渡邊俊一・佐藤まりこ・横田裕輔・氏原直人 (海上保安庁海洋情報部)
石川直史 (海上保安大学校)・望月将志・浅田 昭 (東大生産研)
- 10:00 C31-05 日本海溝沿いの H25 年度海底 GPS 集中観測の概要
木戸元之・日野亮太・飯沼卓史・東 龍介・和田育子・藤本博己
長田幸仁 (東北大学災害研)・太田雄策・鈴木秀市・中山貴史・出町知嗣
富田史章・平原 聡・海田俊輝・立花憲司・三浦 哲・松澤 暢 (東北大院理)
- 10:15 C31-06 海底地殻変動観測から得られた駿河トラフ浅部におけるプレート間固着
安田健二・田所敬一・渡部 豪・永井 悟 (名大環境)
生田領野 (静岡大理)・佐柳敬三 (東海大海洋)
- 10:30 休憩
- 10:45 C31-07 InSAR による活断層近傍の変動検出
福島 洋 (京大防災研)
- 11:00 C31-08 九州地域の 2011 年太平洋沖地震の地震時歪変化
中尾 茂 (鹿大理工)・松本 聡・松島 健 (九大地震セ)・大倉敬宏 (京大火山セ)
- 11:15 C31-09 3 次元地下構造を考慮した有限要素法による 2011 年東北沖地震の粘弾性応答
鈴木翔太・伊藤武男 (名大環境)・里嘉千茂 (東京学芸大)・兵藤 守 (JAMSTEC)
- 11:30 C31-10 日本列島域の 3 次元的プレート構造を考慮した 2011 年東北沖地震による地殻変動
橋間昭徳 (東大地震研)・A. Freed (パーデュー大)・T.W. Becker (南カリフォルニア大)
佐藤比呂志 (東大地震研)・D. Okaya (南カリフォルニア大)
水藤 尚 (国土地理院)・畑中雄樹 (国土地理院)・松原 誠 (防災科技研)
武田哲也 (防災科技研)・石山達也 (東大地震研)・岩崎貴哉 (東大地震研)

- 11:45 C31-11 短期的SSEから推定したプレート境界遷移領域における平均すべり速度
板場智史 (産総研)・木村武志 (防災科研)
- 12:00 C31-12 GNSSデータによる琉球海溝沿いの短期的スロースリップイベントの検出
西村卓也 (京大防災研)
- 12:15 C31-13 豊後水道下で発生した長期的スロースリップイベントについて
吉岡祥一 (神戸大都市安全セ/理)・松岡美子 (NTT データセキスイシステムズ)

10月9日(水) 9:00～10:30 D会場

地震に伴う諸現象
(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長 岩瀬良一・日置幸介

- 9:00 D31-01 電磁波の観測網で捕らえた地震直前の伝搬異常とその理論的根拠となる3種類の記録グラフ
國廣秀光 (JYAN研究会)
- 9:15 D31-02 地震により励起された電磁波パルスの検出 - 波形同時観測による確認 -
筒井 稔 (京産大・コン理工)
- 9:30 D31-03 ハイドロフォンで聴く深海泥流/混濁流
岩瀬良一 (JAMSTEC/JST,CREST)
- 9:45 D31-04 間隙水圧観測から検出された東北地震に伴う透水性変化
木下千裕・加納靖之・伊藤久男 (京大防災研)
- 10:00 D31-05 再び地震直前の電離圏電子数上昇について
日置幸介 (北大院理自然史)・榎本祐嗣 (富山工業技術セ)
- 10:15 D31-06 海溝型巨大地震の震源核形成過程における電磁気・摩擦現象
榎本祐嗣 (富山県工業技術センター)・日置幸介 (北大院理自然史)

10月9日(水) 10:45～12:30 D会場

岩石実験・地殻応力
(講演時間 12分・質疑応答 3分)
座長 矢部康男・吉岡直人

- 10:45 D31-07 2008年岩手・宮城内陸地震震源域における応力場の顕著な空間不均質
吉田圭佑・長谷川昭・岡田知己 (東北大理予知セ)・飯沼卓史 (東北大災害科学国際研)
2008年岩手・宮城内陸地震合同余震観測グループ
- 11:00 D31-08 大規模内陸地震周辺の応力場不均質について
松本 聡 (九大地震火山セ)・片尾 浩・飯尾能久 (京大防災研)
- 11:15 D31-09 南アフリカ大深度金鉱山におけるMw2.2の地震の震源域掘削に基づく応力推定
矢部康男 (東北大理)・小笠原宏 (立命館大)・佐藤隆司 (産総研)
中谷正生・直井 誠 (東大地震研)・R. Durrheim・H. Yilmaz (Wits大)
G. Hofmann・D. Roberts (AnglogoldAshanti)
- 11:30 D31-10 鉱物におけるメカノケミカル効果が地震時の断層滑り挙動に与える影響について
廣野哲朗 (大阪大)・谷川 亘 (JAMSTEC高知)・亀田 純 (北大)
福田惇一 (東北大)・石川剛志 (JAMSTEC高知)

- 11:45 D31-11 高速すべり速度ステップ実験で観察された長い Dc
桑野 修 (JAMSTEC)・中谷正生 (東大地震研)
波多野恭弘 (東大地震研)・阪口 秀 (JAMSTEC)
- 12:00 D31-12 砂山崩し実験における連動性の観察
吉岡直人 (深田地質研究所)
- 12:15 D31-13 摩擦すべりに伴う AE 活動と断層の摩擦特性の関係
飯田拓郎・矢部康男 (東北大学予知セ)

10月9日(水) 15:00～17:00 A会場

地震活動

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 岡田知己・今西和俊

- 15:00 A32-01 ISC-GEM 震源カタログの問題点と改善の試み
石川有三 (産総研)
- 15:15 A32-02 世界の沈み込み帯における地震活動の比較：b 値の違いは何を意味するか？
西川友章・井出 哲 (東大理)
- 15:30 A32-03 秋田県森吉山周辺で発生している誘発地震の震源のマイグレーション
小菅正裕 (弘前大理工)
- 15:45 A32-04 稠密地震観測による鳴子火山およびその周辺域の地殻構造と 2011 年東北沖地震前後の地震活動
岡田知己・中島淳一・内田直希・山本 希・堀修一郎・河野俊夫
中山貴史・平原 聡・松澤 暢・長谷川昭 (東北大・理)
- 16:00 A32-05 地質構造不均質に規制される地震活動の分布：紀伊半島北西部の例
前田純伶 (京大防災研)・遠田晋次 (東北大災害研)・片尾 浩 (京大防災研)
- 16:15 A32-06 2013 年 4 月 13 日淡路島付近の地震の余震の発震機構
片尾 浩 (京大防災研)・久保篤規・山品匡史 (高知大理)
松島 健・相澤広記 (九大理)・酒井慎一 (東大地震研)・澁谷拓郎
中尾節郎・吉村令慧・木内亮太・三浦 勉・飯尾能久 (京大防災研)
- 16:30 A32-07 2013 年淡路島付近の地震 (M6.3) の震源域の応力場
今西和俊・内出崇彦・桑原保人 (産総研)
- 16:45 A32-08 伊豆大島における地震活動のモデル化
森田裕一 (東大地震研)

10月9日(水) 15:00～17:00 B会場

強震動・地震災害

(講演時間 12 分・質疑応答 3 分)

座長 三宅弘恵・青井 真

- 15:00 B32-01 震源近傍の強震記録に基づく 2013 年 2 月 25 日栃木県北部の地震の震源モデル
芝 良昭 (電力中央研究所)
- 15:15 B32-02 2008 年岩手・宮城内陸地震の震源過程 ～東・西傾斜の複数枚断層を仮定した再解析～
引間和人 (東京電力)・瀬瀬一起 (東大地震研)

- 15:30 B32-03 Three-Stage Magnitude-Area Scaling Supported by Slip Inversions and Dynamic Rupture Simulations
#Hiroe Miyake (ERI, Univ. Tokyo) · Kojiro Irikura (AIT)
Luis A. Dalguer (ETH Zurich) · Satoko Murotani (ERI, Univ. Tokyo)
- 15:45 B32-04 3次元不均質構造を仮定したグリーン関数による2011年東北地方太平洋沖地震の震源過程解析
#鈴木 亘・青井 真・前田宜浩 (防災科研)
関口春子 (京大防災研/防災科研)・功刀 卓 (防災科研)
- 16:00 B32-05 ベイズ推定を用いた緊急地震速報のための同時多発地震識別法
#溜瀧功史 (気象庁)・山田真澄 (京大防災研)・Stephen Wu (Caltech)
- 16:15 B32-06 地震動即時予測の次世代への考察 - 東北地方太平洋沖地震の教訓から -
#干場充之 (気象研究所)
- 16:30 B32-07 絶対速度応答の効率的計算法
#功刀 卓・中村洋光・鈴木 亘・青井 真 (防災科研)
- 16:45 B32-08 J-RISQによる震度暴露人口のリアルタイム推定
#青井 真・中村洋光・功刀 卓・鈴木 亘・藤原広行 (防災科研)

10月9日(水) 15:00～17:00 C会場

地震の理論・解析法

(講演時間12分・質疑応答3分)

座長 熊谷博之・大林政行

- 15:00 C32-01 準円筒座標系2.5次元波動モデリング(3) -非弾性減衰-
#豊国源知 (東北大理予知セ)・竹中博士 (岡山大理)
岡元太郎 (東工大理工)・趙 大鵬 (東北大理予知セ)
- 15:15 C32-02 全無限一様弾性体の理論地震動評価におけるアイソクロンバンドとディレクティビティの関係
#今井隆太 (みずほ情報総研)・山田雅行・羽田浩二 (ニュージェック)・藤原広行 (防災科研)
- 15:30 C32-03 不均質な岩石試料内の弾性波動場に関する数値シミュレーション
#吉光奈奈 (東大院情報学環, 東大地震研)
古村孝志 (東大院情報学環, 東大地震研)・前田拓人 (東大地震研)
- 15:45 C32-04 球状震源の地震モーメントと体積変化の再考察
#熊谷博之・前田裕太 (名大・環境)・市原美恵・亀 伸樹・日下部哲也 (東大・地震研)
- 16:00 C32-05 地震波エネルギーの空間分布からの散乱係数と内部減衰の推定
#齋藤清志郎・河原 純 (茨城大理)・齊藤竜彦 (防災科研)
- 16:15 C32-06 地震前後のQ値変化と地殻応力の関係性
#岡本京祐・三ヶ田均・後藤忠徳・武川順一 (京大院・工)
- 16:30 C32-07 P波振動極性を用いた岐阜県飛騨地方の地震の検出
#内出崇彦 (産総研)
- 16:45 C32-08 海洋多重反射波の補正法 (広帯域海底地震計間P波相対走時測定のための)
#大林政行・石原 靖・末次大輔 (JAMSTEC)

10月9日(水) 15:00～17:00 D会場

地震予知

(講演時間 12分・質疑応答 3分)

座長 吉川澄夫・勝俣 啓

- 15:00 D32-01 逆断層型地震の予知 剥離・圧縮・破壊理論による解析
市川捷二 (スリエステクノ)
- 15:15 D32-02 BPT 分布の標準値 $a = 0.24$ の精度について
岡田正実 (気象研)
- 15:30 D32-03 地震活動の静穏化現象の時間的・空間的安定性 (3)
吉川澄夫・林元直樹 (気象研)・明田川保 (気象庁)
- 15:45 D32-04 長期地下水温観測からさぐる最近の地殻歪・応力異常変化
佃 為成 (日本女子大)
- 16:00 D32-05 1946年南海地震前の須崎湾の海水位変化について
梅田康弘・板場智史 (産総研活断層セ)
- 16:15 D32-06 2005年以降の油壺験潮場の上下変動と1923年関東地震前の変動との類似性
勝俣 啓 (北大理)
- 16:30 D32-07 3.11地震直前の異常現象について
中村不二夫 (海里マリン病院)
- 16:45 D32-08 大気イオン濃度変化に見られる地震前兆現象
亀田晃生・三井美佳・矢田直之 (神奈川工大)

10月7日(月) 17:00～18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P1-01～P1-82)

地震計測・処理システム

- P1-01 WIN パッケージ表示解析ツールの開発
中川茂樹・鶴岡 弘 (東大地震研)
- P1-02 小穴埋設時の広帯域地震計のノイズ解析
大滝壽樹 (産総研)・吉田康宏・神定健二 (気象研)
- P1-03 余震の自動イベント検出処理の開発
勝間田明男 (気象研究所)
- P1-04 能動震源を用いた南アフリカ金鉱山微小破壊観測網のセンサー特性の時間変化の推定
村上 理・川方裕則 (立命館大)・吉光奈奈 (CIDIR/ERI)
中谷正生・直井 誠 (東大地震研)・Joachim Philipp (GMuG)・Thabang Masakale (OHMS)
Thabang Kgarume (CSIR)・Luiz Ribeiro (Seismogen)・森谷祐一・矢部康男 (東北大)
Anthony Ward (Seismogen)・Ray Durrheim (CSIR)・小笠原宏 (立命館大)
- P1-05 微小地震検出のための SEISCOMP3 モジュールの開発, 及び海底ケーブルデータへの適用
藤亜希子 (JAMSTEC)・Jan Becker・Bernd Weber (gempa GmbH)
高江洲盛史・高橋成実・坪井誠司 (JAMSTEC)

地殻構造

- P1-06 高密度・高速サンプリングの地震計アレイ観測による断層破砕帯周辺の地震波速度構造
雑賀 敦・大久保慎人 (東濃地震科研)

- P1-07 コーダ波を用いた坑道検出の試み – 南アフリカ Cooke4 鉱山観測サイト
 # 今川祥太・川方裕則 (立命館大)・土井一生 (京大防災研)
 吉光奈奈 (東大院情報学環, 東大地震研)・村上 理 (立命館大)
 中谷正生・直井 誠 (東大地震研)・Joachim Philipp (GMuG)
 Anthony Ward・Gilbert Morema (Seismogen)・Vlok Visser・Sifiso Khambule
 Thabang Masakale (OHMS)・Alex Milev・Ray Durrheim (CSIR)
 Luiz Ribeiro (Gold One)・Mike Ward (Seismogen)・小笠原宏 (立命館大)
- P1-08 速度構造モデル構築における減衰する初動相の影響について
 # 村瀬 圭 (川崎地質 (株))
- P1-09 室内地震探査実験装置の開発
 # 桑野 修・仲西理子・利根川貴志・柳澤孝寿・藤江 剛
 山下幹也・諸橋葉子・首藤慶子・今村仙子 (JAMSTEC)
- P1-10 日本海溝を横断する OBS 構造探査
 # 藤江 剛・高橋 努・小平秀一・尾鼻浩一郎 (JAMSTEC)・山田知朗 (東大地震研)
- P1-11 東北地方の不均質構造と地殻大地震発生との関係
 # 北川弘樹・趙 大鵬・豊国源知 (東北大理予知セ)
- P1-12 東北地方のマントルウェッジにおける P 波、S 波の異方性の整合性
 # 小田 仁 (岡大理)
- P1-13 臨時観測データを用いて推定した 2011 年東北沖地震前後での東日本地殻内の S 波偏向異方性構造
 # 吉田圭佑・長谷川昭・岡田知己・中島淳一 (東北大)
 2011 年東北地方太平洋沖地震合同余震観測グループ
- P1-14 遠野アレイデータを用いた 2011 年東北地方太平洋沖地震に伴う地震波速度変化
 # 高木涼太・河野俊夫・内田直希・岡田知己・長谷川昭 (東北大理予知セ)
- P1-15 常時微動を用いた地震波干渉法による鬼首・鳴子地域の速度構造
 # 田村 淳・岡田知己・松澤 暢 (東北大理予知セ)
- P1-16 米沢-会津地域における S 波反射面の分布
 # 高橋承之 (山大・理工)・岡田知己 (東北大理予知セ)
 長谷見晶子 (山大・理)・海野徳仁 (東北大理予知セ)
- P1-17 能登半島地震震源域における地震波減衰構造 (2)
 # 津村紀子・高岡宏之・江元智子・高橋 豪・戸谷真亜久・風戸良仁・宮垣敬一郎 (千葉大・理)
 平松良浩・浦野 駿・原 雄斗・小泉 亮・堀野一樹 (金沢大・理)
 加藤愛太郎・能登半島地震合同観測グループ (東大・地震研)
- P1-18 反射法地震探査による北美濃地域の地下構造の推定
 # 江元智子・津村紀子 (千葉大)・藤原 明・阿部 進 (地科研)・小嶋 智 (岐阜大)・狩野謙一 (静岡大)
 小村健太郎・武田哲也・浅野陽一 (防災科研)・小原一成 (東大地震研)・伊藤谷生 (帝京平成大)
- P1-19 Quantitative study of the separation of intrinsic and scattering attenuation in South Korea
 # Tae Woong Chung, Asep Nur Rachman (Sejong Univ. Korea), Kazuo Yoshimoto (Yokohama City Univ.)
- P1-20 地震探査による日本海・日本海盆南縁部の S 波速度構造
 # 佐藤 壮・野 徹雄・高橋成実・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-21 深発地震を用いた東海地域の地殻構造のイメージング
 # 戸谷真亜久・渡辺俊樹・山岡耕春 (名古屋大)・加藤愛太郎・飯高 隆 (東大地震研)
 生田領野 (静岡大)・津村紀子 (千葉大)・大久保慎人・鈴木貞臣 (東濃地震研)
- P1-22 箱根火山及びその周辺域の速度構造
 # 行竹洋平・本多 亮・原田昌武・里村幹夫 (温地研)
- P1-23 相模トラフ南側におけるマルチチャンネル反射法地震探査
 # 三浦誠一・野 徹雄・佐藤 壮・山下幹也・斎藤実篤・高橋成実・小平秀一 (JAMSTEC)

- P1-24 マルチチャンネル反射法地震探査で見る父島東方沖の地殻構造
野 徹雄・尾鼻浩一郎・海宝由佳・山下幹也・小平秀一 (JAMSTEC)
- P1-25 地震波ノイズ干渉法を使用した 2009 年駿河湾の地震前後の地震波伝播特性の変化の検出
崎山恵理・渡辺俊樹・山岡耕春 (名古屋大)・生田領野 (静岡大)
- P1-26 Seismic Interferometry for Crustal Structure Using Nonvolcanic Tremor in Southwest Japan
Rasha Amer, Naoki Suda (Hiroshima Univ.)
- P1-27 DONET 記録を用いたレシーバ関数解析
利根川貴志・深尾良夫・荒木英一郎・藤垂希子・石原 靖・高橋成実 (JAMSTEC)
- P1-28 海底・海底下地震計で観測された雑振動記録を利用した南海トラフの S 波異方性構造探査
木村俊則 (JAMSTEC)・三ヶ田均 (京都大学)・荒木英一郎・北田数也 (JAMSTEC)
- P1-29 レシーバ関数解析から推定された紀伊半島下のフィリピン海スラブ周辺の構造 (2)
今井基博・澁谷拓郎 (京大防災研)・平原和朗 (京大理)・中尾節郎 (京大防災研)
- P1-30 紀伊半島下に沈み込むフィリピン海スラブ周辺の 3 次元地震波速度構造 (4)
澁谷拓郎・今井基博 (京大防災研)・平原和朗 (京大理)・中尾節郎 (京大防災研)
- P1-31 近畿地方北部における地震波速度構造と地震活動
海谷絵未・片尾 浩・澁谷拓郎・飯尾能久・三浦 勉 (京大防災研)
- P1-32 大大特「新宮 - 舞鶴測線 2004」探査データの CRS/MDRS 法再処理結果
藤原 明 (地科研)・伊藤 潔 (阪神コンサル)・佐藤比呂志 (東大地震研)
阿部 進 (地科研)・伊藤谷生 (帝京平成大)
- P1-33 構造研究に基づく南海トラフ域の 3 次元速度構造モデルの構築
仲西理子・下村典生・小平秀一・尾鼻浩一郎・高橋 努・山本揚二郎・高橋成実・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-34 南西諸島海溝北端部における地殻構造
及川光弘・西澤あずさ・金田謙太郎・堀内大嗣・藤岡ゆかり (海上保安庁)

地震教育・地震学史

- P1-35 地震学の魅力を伝えるアウトリーチコンテンツの作成
山田真澄・後藤浩之 (京大防災研)
- P1-36 教育機関向けの地質学及び地震学統合実習プログラムの実施報告
仲西理子・桑野 修・柳澤孝寿・藤江 剛・山下幹也・田中 聡
木村純一・小俣珠乃・今村仙子・諸橋葉子・首藤慶子 (JAMSTEC)
- P1-37 校舎を利用した地震観測と福井平野の地震活動
岡本拓夫 (福井高専)・齊川清一 (藤島高校)・岩堀卓弥 (京大防災研)
谷口 溪 (福大工)・平野憲雄 (元京大)
- P1-38 地震動体験としての列車振動利用の検討
林 能成 (関西大学社会安全学部)

地震発生の物理

- P1-39 立体アレーを用いた深部低周波地震 (LFE) の P 波・S 波の検出とその震源決定への応用 (2)
鈴木貞臣・大久保慎人・雑賀 敦 (東濃地震科研)・今西和俊・北川有一・武田直人 (産総研)
- P1-40 四国西部の深部低周波微動の m 値の解析
案浦 理 (東大地震研)・西村太志 (東北大・理・地球物理)・小原一成・前田拓人 (東大地震研)
- P1-41 西南日本における深部低周波微動のスケーリング関係
堀野一樹・平松良浩 (金沢大)・小原一成 (東大地震研)・松澤孝紀 (防災科研)
- P1-42 浅部超低周波地震と長期的・短期的スロースリップイベント発生の数値モデリング
松澤孝紀 (防災科研)・芝崎文一郎 (建築研)・小原一成 (東大地震研)・廣瀬 仁 (神戸大)
- P1-43 外部イベントによる応力変化が房総沖スロースリップの発生間隔に与える影響の定量的評価
山崎隆史・佐藤利典 (千葉大理)・芝崎文一郎 (建築研)・橋間昭徳 (東大地震研)・廣瀬 仁 (神戸大理)

- P1-44 ABAQUS2 次元地震サイクルモデル (1)
平原和朗 (京大理)・永坂英明・今井敏之 (中電シーティーアイ)
- P1-45 地表面形状が地震発生サイクルに与える影響
大谷真紀子・平原和朗 (京大理)
- P1-46 東北地方の日本海溝沿いと日向灘における地震発生サイクルに見られる類似した特徴
中田令子・兵藤 守・堀 高峰 (JAMSTEC)
- P1-47 準動的な地震発生サイクルシミュレーションによる南海トラフ地震発生シナリオの蓄積
兵藤 守・中田令子・堀 高峰 (JAMSTEC)
- P1-48 プレート境界すべりのアンサンブル予測にもとづくプレート境界地震発生予測システム構築の現状
堀 高峰 (JAMSTEC)・宮崎真一 (京大理)・兵藤 守・中田令子・有吉慶介・金田義行 (JAMSTEC)
- P1-49 沈み込み帯プレート境界面破壊に関する単純なモデル
江口孝雄 (防衛大地球海洋)
- P1-50 速度状態依存摩擦則を用いた非平面断層における震源核形成過程
水野尚人・鈴木岳人・井出 哲 (東大理)
- P1-51 差分法を用いたマルチスケール動的断層破壊シミュレーションの試み
金野圭祐 (神戸大・理)・吉岡祥一 (神戸大・都市安全セ / 理)
- P1-52 Dynamic Fracture at or across an Interface in a Stratified Medium Induced by Primary Fault Rupture Propagation
Koji Uenishi (Sch. Eng., Univ. Tokyo)
- P1-53 動力学的破壊シミュレーションによる傾斜する断層の連動性の検討：傾斜角の影響
加瀬祐子 (産総研)
- P1-54 大型二軸摩擦実験時に発生した微小破壊活動について
土田琴世 (立命館大)・川方裕則 (立命館大, 防災科研)・福山英一 (防災科研)
山下 太 (防災科研)・溝口一生 (電中研, 防災科研)・加納靖之 (京大防災研)
吉光奈奈 (東大院情報学環, 東大地震研)・土井一生 (京大防災研)・滝沢 茂 (筑波大, 防災科研)
- P1-55 短周期地震動の成因 (3) 滑り速度時間関数の立ち上がり時間の不均質による影響
宮武 隆 (東大地震研)
- P1-56 スペクトル要素法による 2013 年オホーツク海の深発地震の全球理論波形計算
三好崇之・坪井誠司・中村武史・大林政行・東野陽子 (JAMSTEC)
- P1-57 Hybrid Back-projection 法による 2013 年オホーツク海にて発生した深発地震の震源過程
遠藤 俊・八木勇治 (筑波大生命環境)
- P1-58 バックプロジェクション法による関東地方の中規模地震の破壊過程の解析
村越 匠 (防衛大)・西澤 航 (航空自衛隊)・酒井慎一・中川茂樹
平田 直 (東大地震研)・本多 亮 (温地研)・木村尚紀 (防災科研)
- P1-59 2009 年 10 月 30 日奄美大島沖の地震の震源過程
小林励司・後藤和彦・中尾 茂 (鹿大理工)
- P1-60 Coseismic and Potential Early Afterslip of the 2009 Mw 6.3 L'Aquila, Italy Earthquake
Tomoko Elizabeth Yano (NIED), Guangfu Shao (CGG)
Qiming Liu, Chen Ji, Ralph J. Archuleta (UCSB, ERI)
- P1-61 内陸地震の高すべり領域と静的応力降下量の関係：2007 年能登半島地震の場合
浦野 駿・平松良浩 (金沢大学)・山田卓司 (北海道大学)・2007 年能登半島地震合同余震観測グループ
- P1-62 3 次元グリーンテンソル波形による 2011 年東北地方太平洋沖地震の破壊過程の推定 (2)
: グリーンテンソル波形の違いの影響
岡元太郎 (東工大)・竹中博士 (岡山大)・原 辰彦 (建築研)
中村武史 (JAMSTEC)・青木尊之 (東工大)

- P1-63 2011 年東北地方太平洋沖地震前後の応力降下の時空間変化
三宅弘恵 (東大地震研)
- P1-64 2011 年 Mw9 東北地震に伴ったスーパーサブイベントの可能性：その 2
川崎一朗・石井 紘・浅井康広 (東濃地科研)・西村卓也 (京大防災研)
- P1-65 GPS データによる日本周辺のすべり欠損分布およびその時間変化
樋口 駿・額額一起 (東大地震研)・横田裕輔 (海上保安庁)
- P1-66 東北地方太平洋沖のプレート収束帯の物理～「押してないなら引きだろ」では済まない理由～
間瀬博文 (所属なし)
- P1-67 Forest-fire モデルにおける大地震前の地震の静穏化と b 値の変動
光藤哲也 (FIRST 合原)・加藤尚之 (東大地震研)

津波

- P1-68 非線形分散波理論に基づく地形ネスティング可能な並列津波計算コードの開発
馬場俊孝・高橋成実・金田義行・安藤和人・松岡大祐 (JAMSTEC)・加藤利広 (NEC)
- P1-69 Leap-frog 差分法による津波浸水シミュレーションの「京」コンピュータ上での実装
大石裕介 (欧州富士通研)・今村文彦・菅原大助 (東北大災害科学国際研)
- P1-70 即時 CMT 解を利用したフィリピン・インドネシア近海のリアルタイム津波予測システム
稲津大祐・齊藤竜彦 (防災科研)・熊谷博之 (名古屋大学)・プリード ネルソン・福山英一 (防災科研)
- P1-71 リアルタイム津波ハザードマップシステムの開発と検証
高川智博・富田孝史 (港空研)・辰巳大介 (国総研)
- P1-72 tFISH に基づく津波即時予測システムの性能評価
対馬弘晃・林 豊・前田憲二 (気象研)
- P1-73 過去の津波被害写真との比較に見る東北地方太平洋沖地震の津波被害
浜田信生・山本雅博
- P1-74 津波の逆伝播による 2012 年 12 月 7 日三陸沖地震の震源位置の推定
青木朝美 (神戸大・理)・吉岡祥一 (神戸大・都市安全セ / 理)
- P1-75 2011 年東北地方太平洋沖地震の余震は津波の高さに影響を及ぼしたか？
林 豊・対馬弘晃・前田憲二 (気象研)
- P1-76 1896 年明治三陸地震の検潮記録と津波痕跡高による津波波源推定
藤井雄士郎 (建築研)・佐竹健治 (東大地震研)・山木 滋 (シーマス)
- P1-77 1953 年房総沖地震の津波波形の再現
室谷智子・佐竹健治 (東大地震研)
- P1-78 安政東海地震津波 (1854) の五ヶ所湾湾奥部における津波高分布
鳴橋竜太郎・佐竹健治 (東大地震研)
- P1-79 潮岬・橋杭岩周辺に分布する津波石 - 詳細計測による検討 -
宍倉正展 (産総研)・前空英明 (法政大)・越後智雄 (地盤財団)
行谷佑一 (産総研)・小野尚哉・神田広信・江本聡志 (国際航業)
- P1-80 宮古諸島における津波堆積物調査
志賀翔太・中村 衛・藤田和彦・新城安尚・具志川千秋 (琉球大理)
安藤雅孝・徐 陽子 (台湾中央研究院)・宍倉正展 (産総研活断層セ)
- P1-81 沖縄本島における津波堆積物調査
志賀翔太・中村 衛・藤田和彦・新城安尚・山城咲貴・玉城尚幸・砂川尚也・佐名智子 (琉球大理)
- P1-82 台湾蘭嶼島における津波・波浪による巨礫移動
中村 衛・新城安尚 (琉球大理)

10月8日(火) 17:00～18:30 ポスター会場

ポスターセッション (P2-01～P2-55)

地殻変動・GPS・重力

- P2-01 地震計データによるすべりを拘束条件とした2011年東北地方太平洋沖地震の測地データによる地震時・地震後すべり-その1
中津瀬良平・#佐藤利典(千葉大理)
- P2-02 海陸測地観測データに基づく2011年東北地方太平洋沖地震の余効すべりの時空間発展(その3)
#飯沼卓史・日野亮太・木戸元之・長田幸仁・藤本博己(東北大災害研)・太田雄策
伊藤喜宏・鈴木秀市(東北大院理)・佐藤まりこ(海洋情報部)・稲津大祐(防災科研)
- P2-03 高詳細三次元地殻モデルを用いた地震時断層すべり分布推定手法の開発とその有効性の基礎的検討
#縣亮一郎(東大工)・市村 強(東大地震研)・平原和朗(京大理)
堀 高峰・兵藤 守(JAMSTEC)・堀 宗朗(東大地震研)
- P2-04 大きな地震の余震数と余効変動との関係(その2)
#小林昭夫・武藤大介・横田 崇(気象研究所)
- P2-05 西南日本のプレート間固着・スロースリップの時間変化
#落 唯史(産総研)
- P2-06 独立成分分析の網羅的適用による地殻変動データからのスロースリップイベント成分の抽出
徳永旭将(統数研)・#木村武志(防災科研)・稲津大祐(防災科研)・中村和幸(明治大)
- P2-07 長野県西部地域における地殻変動と地震活動の時間変化
#原 雄斗・平松良浩(金沢大学)
- P2-08 スマトラ断層北西部のGPS観測網内で連続して発生した地震
#伊藤武男・Endra Gunawan(名大環境)・太田雄策(東北大理)・田部井隆雄(高知大理)
木股文昭(東濃地震研)・Nazli Ismail・Didik Sugiyanto・Irwandi Nurdin(Syiah Kuala Univ.)
- P2-09 箱根火山群発活動に先行するGPS変化の検出
#宮岡一樹・原田昌武・道家涼介(温泉地学研究所)
- P2-10 地殻構造調査結果を反映した3次元重力モデルによるフィリピン海プレート北西部の地殻の厚さ
#藤岡ゆかり・及川光弘・堀内大嗣・金田謙太郎・西澤あずさ
芝田 厚・岩渕 洋(海上保安庁)・石原丈実(産総研)
- P2-11 熊野灘での海底地殻変動観測における高精度・高空間分解能化への取り組み
#藤井越百・田所敬一・渡部 豪・永井 悟・安田健二・奥田 隆(名古屋大学)・生田領野(静岡大学)
- P2-12 南海トラフの海底地殻変動観測と海溝軸付近の地殻変動
#渡部 豪・田所敬一・永井 悟・安田健二・藤井越百(名古屋大学)・久野正博(三重県水産研究所)
- P2-13 セミリアルタイム海底地殻変動観測に向けたGPS測位精度評価
#長田幸仁(東北大災害研)・太田雄策・出町知嗣(東北大院理)
木戸元之・藤本博己・日野亮太(東北大災害研)

テクトニクス

- P2-14 Seismic Anisotropy in Kyushu from Shear Wave Splitting
#Savage, M.K. (Victoria Univ. Wellington), Y. Aoki, T. Ohminato (ERI, Univ. Tokyo)
T. Ohkura (Aso Vol. Lab, Univ. Kyoto), K. Umakoshi (Env. Studies, Nagasaki Univ.)
H. Shimizu (Inst. Seismol. & Volcanol. Kyushu Univ.)
M. Iguchi, T. Tameguri (Sakurajima Vol. Res. Centre, Kyoto Univ., Kagoshima)

地球及び惑星の深部構造と物性

- P2-15 ハルツバーガイト層が沈み込みプレートの形態と海洋地殻層の挙動に果たす役割
#吉田晶樹(JAMSTEC)

- P2-16 スペクトル要素法を用いた波形インバージョンによる日本列島下の三次元地震波速度構造の推定
三好崇之・大林政行・東野陽子・坪井誠司 (JAMSTEC)
- P2-17 Hi-net で計測される日本列島における splitting intensity の空間的変化について
小川直人・川勝 均・竹内 希 (東大地震研)・汐見勝彦 (防災科研)
- P2-18 NOMan プロジェクトによって明らかになった北西太平洋下の最上部マントル異方性構造：序報
竹尾明子・一瀬建日・西田 究・川勝 均・塩原 肇 (東大地震研)
杉岡裕子・伊藤亜妃 (JAMSTEC)・歌田久司 (東大地震研)

活断層・歴史地震

- P2-19 岩手県宮古市沼の浜で採取した津波堆積物
五島朋子 (東大新領域)・佐竹健治 (東大地震研)
須貝俊彦 (東大新領域)・石辺岳男・原田智也・室谷智子 (東大地震研)
- P2-20 伊豆 - 小笠原海溝沿いに (超) 巨大地震を想定した場合の津波シミュレーション
原田智也 (東大地震研)・石橋克彦 (元神戸大)・佐竹健治 (東大地震研)
- P2-21 南海道地震に伴った地殻変動：(3) 愛媛県西条市西部 (旧, 東予市・周桑郡小松町)
中西一郎 (京大理)
- P2-22 日本列島周辺の深海底における活断層の変動地形学的認定手法
後藤秀昭 (広島大)・# 中田 高 (広島大名誉教授)
- P2-23 長野盆地西縁断層帯, 飯山市街地付近の平均変位速度
杉戸信彦 (法政大)・鈴木毅彦 (首都大)・石山達也 (東大地震研)・廣内大助 (信州大)・今泉俊文 (東北大)
- P2-24 砺波平野断層帯 (高清水断層) における浅層反射法地震探査
加藤直子・石山達也・佐藤比呂志 (東大地震研)
- P2-25 反射法地震探査により明らかとなった熊谷市東部における深谷断層系の構造
堀川晴央・山口和雄・横倉隆伸・伊藤 忍・阿部信太郎 ((独) 産総研)
秋永康彦・末廣匡基 (阪神コンサル)
- P2-26 反射法地震探査による綾瀬川断層南東部の構造調査
堀川晴央・山口和雄・横倉隆伸・伊藤 忍・阿部信太郎 ((独) 産総研)・秋永康彦・末廣匡基 (阪神コンサル)
- P2-27 富士川沿いの活断層「身延断層」の断層変位地形
水本匡起・田力正好・松浦律子・松田時彦 (地震予知振興会)
後藤秀昭・中田 高 (広島大)・堤 浩之 (京都大)
- P2-28 山地域の横ずれ活断層沿いの河谷の偏形度—中部地方の事例
田力正好・水本匡起・松田時彦 (地震予知振興会)
- P2-29 地形・地質構造から推定した生駒断層帯の地下形状
谷枝里子 (京大理)・遠田晋次 (東北大災害研)
- P2-30 九州地域の活断層の長期評価について
矢来博司 (文科省)・地震調査委員会長期評価部会活断層分科会

地盤構造・地盤震動

- P2-31 ネパール国カトマンズ盆地における強震観測
重藤迪子 (北海道大学)
- P2-32 奄美大島での S 波速度構造探査—島の地震動評価のために—
山田伸之 (福岡教育大)・竹中博士 (岡山大)
- P2-33 関東学院大学金沢八景キャンパスにおける常時微動の特性
前田直樹・清水淳矢・油井一樹・園田成朗・畠山涼平 (関東学院大)
- P2-34 堆積盆地端での表面波の励起—関東平野北西部での検討—
武村俊介・赤津 舞・山崎瑞穂・吉本和生 (横浜市立大学)
- P2-35 浅部速度断面を得るための簡便な微動探査—関東地方の低地・台地への適用—
先名重樹 (防災科研)・長 郁夫 (産総研)・藤原広行 (防災科研)

- P2-36 浅部速度断面を得るための簡便な微動探査—H/V 深度変換の提案—
長 郁夫 (産総研)・先名重樹・藤原広行 (防災科研)
- P2-37 関東機動地震観測アレイ (K3 アレイ) の立ち上げ - 関東平野の大深度地盤構造の解明に向けて -
吉本和生 (横浜市大)・武田哲也 (防災科研)・中原 恒 (東北大)・佐藤比呂志 (東大地震研)
- P2-38 3次元有限差分法と相反定理を利用した堆積盆地の形状による地盤震動特性の評価
平井 敬 (名大院環境)・福和伸夫 (名大減災セ)
- P2-39 地震波干渉法に基づく地球潮汐による地震波速度変化の検出—岩手山麓における小アレーデータの解析
高野智也・西村太志・中原 恒・太田雄策 (東北大・理)・田中佐千子 (防災科研)
- P2-40 地震波干渉法による能登半島の地震基盤構造の推定
小泉 亮・平松良浩 (金沢大学)・2007年能登半島地震合同余震観測グループ

地震一般・その他

- P2-41 Dislocation モデルによる地表変形量と PFDHA からみた地表地震断層出現確率の検討
井上直人・宮腰 研・北田奈緒子 (地盤研究財団)・入倉孝次郎 (愛知工業大学)
- P2-42 地表地震断層の出現率についての考察
北田奈緒子・井上直人 (地盤研究財団)
- P2-43 アンケート調査資料に基づいた 1943 年鳥取地震の震度分布
西田良平 (鳥取大)・香川敬生・野口竜也 (鳥取大院工)
- P2-44 高周波震動継続時間と変位振幅を用いたマグニチュード：改定とリージョナルデータへの適用
原 辰彦 (建築研)

JFAST: 海溝軸での巨大地震性滑りの解明

- P2-45 東北地方太平洋沖地震が茨城県沖の海溝海側斜面でやったこと～海溝軸、瞬間転移か～
間瀬博文 (所属なし)
- P2-46 北海道と東北日本前弧域の構造不均質と巨大地震の発生機構
趙 大鵬・LIU Xin・HUANG Zhouchuan (東北大)
- P2-47 JFAST 掘削孔近傍における地下構造調査
中村恭之・小平秀一・山本揚二郎・藤江 剛・尾鼻浩一郎・三浦誠一・高橋成実 (JAMSTEC)
Becky Cook (サザンプトン大)・Marianne Conin (ギアナアンティル大)・James Mori (京大防災研)
Frederick Chester (テキサス A&M 大)・江口暢久・Sean Toczko (JAMSTEC)・第 343 次航海乗船研究者
- P2-48 宮城・岩手沖日本海溝における高分解能反射法探査
中村恭之・小平秀一・山下幹也・三浦誠一・藤江 剛・下村典生・井和丸光 (JAMSTEC)
- P2-49 地震学的地下内部不均質を考慮した 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源モデル
藤原 了・河路 薫・是永 薫・秋山伸一 (CTC)
- P2-50 津波波源モデルの違いによる津波波力の差異の評価
藤原 了・田宮貴洋・是永 薫・橋本紀彦 (CTC)
- P2-51 沈み込みプレート境界浅部の低摩擦特性を考慮した東北地方太平洋沖地震の準動的発生サイクルモデル
芝崎文一郎 (建築研)・野田博之 (JAMSTEC)・氏家恒太郎 (筑波大学)・廣瀬丈洋 (JAMSTEC)

実践的な地震予測可能性研究にむけて

- P2-52 大地震の前兆観測と予測情報の一般公開
國廣秀光 (JYAN 研究会)
- P2-53 首都圏の地震発生予測モデルの構築に向けて - 震源の深さに注目した地震カタログの評価 -
横井佐代子・鶴岡 弘・平田 直 (東大地震研)
- P2-54 DONET データを用いた地震活動の近地準リアルタイムモニタリングシステムの開発にむけて
鈴木健介・高橋成実・神谷眞一郎・堀 高峰・中野 優・中村武史・金田義行 (JAMSTEC)

10月9日(水) 13:30～15:00 ポスター会場

ポスターセッション (P3-01～P3-71)

地震の理論・解析法

- P3-01 アイコナル方程式に基づく破壊伝播速度の非一様性を考慮した理論地震動シミュレーション
今井隆太 (みずほ情報総研)・山田雅行・羽田浩二 (ニュージェック)・藤原広行 (防災科研)
- P3-02 Reversible Jump MCMC を用いたランダム速度不均質構造の推定
高橋 努・尾鼻浩一郎・山本揚二郎・海宝由佳・仲西理子・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- P3-03 3D- MTMC Shooting 法による地震パラメータの推定
大久保慎人・雑賀 敦・鈴木貞臣 (東濃地震科研)
- P3-04 Kirchhoff-Neumann 型マイグレーション：新しい波面外挿法を用いた緊急地震速報の改良
蓬田 清・佐藤明日花 (北大理)
- P3-05 2次元減衰性媒質における非一様なノイズ分布に対する地震波干渉法の具体的表現
中原 恒 (東北大学)
- P3-06 マルチタイムウィンドウ有限イベント震源インバージョンとその適用
笠原天人・八木勇治 (筑波大)
- P3-07 コーダ波・常時微動の波動場構成の検討 - オフセット鉛直アレイ観測記録を用いた地震波干渉法 -
南廣太郎・山本 希・西村太志・中原 恒 (東北大理)・汐見勝彦 (防災科研)
- P3-08 東北地震発生直後の(超)長周期地震動の水平/鉛直スペクトル比に含まれるピークとその意味
三井雄太 (静大理)・日置幸介 (北大理)

地球熱学

- P3-09 西南日本におけるプレート境界面の摩擦係数と放射性元素の空間分布が地殻熱流量に与える影響
季 穎鋒 (神大・理)・吉岡祥一 (神大・都市安全セ/理)・松本拓己 (防災科研)
- P3-10 東海地域におけるフィリピン海プレートの沈み込みに伴う温度場の数値シミュレーション
末永伸明 (神大理)・吉岡祥一 (神大都市安全セ/理)・松本拓己 (防災科研)

地震活動

- P3-11 2011年東北地方太平洋沖地震がもたらした静的・動的な応力変化による地震活動の応答
加藤愛太郎・福田淳一・小原一成 (東大地震研)
- P3-12 2011年東北地方太平洋沖地震に伴う2008年岩手・宮城内陸地震余震域の静穏化
鈴木悠平 (東北大理)・遠田晋次 (東北大災害研)
- P3-13 2011年東北地方太平洋沖地震による東北地方内陸部の地震活動の時間変化
山村卓也 (東北大予知セ)・岡田知己 (東北大予知セ)
- P3-14 南関東から関東沿岸部の太平洋スラブおよびフィリピン海スラブ近傍における東北地方太平洋沖地震発生後の
応力変化 (2)
高橋 豪・津村紀子 (千葉大学)
- P3-15 2011年東北地方太平洋沖地震南部震源域における地震活動と地殻構造
町田祐弥・篠原雅尚 (東大地震研)・中東和夫 (神戸大)・山田知朗・望月公廣
塩原 肇 (東大地震研)・村井芳夫 (北大)・日野亮太 (東北大)・佐藤利典 (千葉大)
植平賢司 (防災科研)・八木原寛 (鹿大)・平田賢治 (防災科研)・小平秀一 (JAMSTEC)
- P3-16 フィリピン海プレート上面の最近の地震活動と関東地震の震源域
酒井慎一・中川茂樹・平田 直 (東大地震研)
- P3-17 高精度震源カタログを用いた関東地域における地震発生層下限の推定
武田哲也・ヤノ エリザベス トモコ・汐見勝彦 (防災科研)
- P3-18 関東地方におけるS-P時間と初動の分布
石辺岳男・佐竹健治・村岸 純・鶴岡 弘・中川茂樹・酒井慎一・平田 直 (東大地震研)

- P3-19 フィリピン海プレート沈み込み帯付近で発生した二つの中規模地震について
本多 亮・行竹洋平・原田昌武・宮岡一樹・道家涼介・里村幹夫 (温地研)
- P3-20 箱根火山で発生した群発地震活動の特徴比較
原田昌武・行竹洋平・宮岡一樹・本多 亮・板寺一洋・道家涼介・里村幹夫・吉田明夫 (温泉地学研究所)
- P3-21 2011 年長野県北部地震周辺の地震活動と動的誘発地震との関係
下條賢梧・Bogdan Enescu・八木勇治 (筑波大学)・武田哲也 (防災科研)
- P3-22 日本海で 20 世紀後半に発生した M ~ 7 地震の断層面の再検討と震源過程の推定
原田智也・佐竹健治 (東大地震研)
- P3-23 OBS を用いた駿河トラフ・石花海周辺の地震活動
馬場久紀 (東海大海洋)・平田賢治 (防災科研)・山崎 明・対馬弘晃・勝間田明男
上野 寛・青木重樹・前田憲二・横田 崇 (気象研)・長尾年恭 (東海大海洋研)
- P3-24 紀伊半島下に沈み込むスラブ内応力の海溝軸に沿った変化
悪原 岳・望月公廣 (東大地震研)
- P3-25 紀伊水道における自然地震観測
山本揚二郎・高橋 努・海宝由佳・尾鼻浩一郎・仲西理子・小平秀一・金田義行 (JAMSTEC)
- P3-26 南海トラフ長期孔内観測点 C0002 で得られた間隙水圧の長周期地震動に対する応答評価
北田数也・荒木英一郎・木村俊則 (JAMSTEC)・Demian Saffer (PSU)
- P3-27 2007 年能登半島地震の余震活動における b 値の時間変化
岩田貴樹 (統計数理研究所)
- P3-28 1995 年兵庫県南部地震後の 2013 年淡路島地震周辺への粘弾性的応力再配分
橋間昭徳・石辺岳男 (東大地震研)
- P3-29 四国西部における深部非火山性微動の震源移動の拡散係数
井戸未季・須田直樹 (広島大・理)
- P3-30 琉球海溝の浅部超低周波地震活動
中村 衛 (琉球大理)
- P3-31 Google Maps/Earth を用いた全世界の微動活動のデータベース化および可視化
出原光暉・矢部 優・井出 哲 (東大院・理・地惑)
- P3-32 2012 年 8 月 31 日フィリピン・サマル地震 (Mw7.6) と余震のメカニズムおよび応力変化
プリード ネルソン (防災科研)・Baby Jane T. Punonbayan (フィリピン地震・火山研究所)
熊谷博之 (名古屋大)・中野 優 (JAMSTEC)・井上 公 (防災科研)
Ishmael C. Narag (フィリピン地震・火山研究所)・Renato U. Solidum (フィリピン地震・火山研究所)
- P3-33 震源再決定によるフィリピン断層帯で 1900 年以降に発生した大地震の断層面推定とフィリピン断層の地震履歴
古川信雄 (建築研)・Lumbang Rey Macapagal (比国火山地震研)
- P3-34 ニュージーランド南島北中部における稠密地震観測
岡田知己 (東北大)・飯尾能久 (京大防災研)・Richard H. Sibson (オタゴ大学)・松本 聡 (九州大)
Jarg Pettinga (カンタバリー大学)・Stephen Bannister (GNS Science)・John Townend (VUW)
Martin Reyners (GNS Science)・Francesca C Ghisetti (TerraGeoLogica)・小菅正裕 (弘前大)
深畑幸俊・濱田優輝 (京大防災研)・平原 聡 (東北大)・三浦 勉 (京大防災研)・中元真美 (九州大)
中山貴史 (東北大)・大見士朗・高田陽一郎・山田真澄・米田 格 (京大防災研)
- P3-35 ニュージーランド北島沖合ヒ克蘭ギ沈み込み帯における海底地震観測
藪島大資・望月公廣・塩原 肇・山田知朗・篠原雅尚 (東大地震研)
Stuart Henrys・Bill Fry・Stephen Bennister (GNS Science, NZ)
- P3-36 GLISN 広帯域地震観測網によるグリーンランド氷床モニタリング
豊国源知 (東北大理予知セ)・金尾政紀 (極地研)・東野陽子 (JAMSTEC)
姫野哲人 (成蹊大理)・坪井誠司 (JAMSTEC)・Dean Childs・Kent Anderson (IRIS)

P3-37 非定常 ETAS モデルによる地震活動異常の解析
熊澤貴雄 (統数研)・尾形良彦 (統数研, 東大)

P3-38 余震活動の新たな予測手法の検討
横田 崇・# 武藤大介 (気象研)・宮岡一樹 (温地研)・木村久夫 (気象庁)

P3-39 気象庁震源の精度改善の試み (浅部 S 波速度構造, 重み関数の改良と観測点高度の導入)
上野 寛 (気象研究所)・森脇 健 (気象庁地震火山部)・勝間田明男・横田 崇 (気象研究所)

岩石実験・地殻応力

P3-40 Stress states at the Kumano basin and slope sediment determined from ASR method; Results from IODP Expedition 338
Kiyokazu Oohashi (Chiba Univ.), Weiren Lin (KCC, JAMCTEC), Asuka Yamaguchi (Univ. of Tokyo)
Yuhji Yamamoto (Kochi Univ.), IODP Expedition 338 Scientists

P3-41 大型 2 軸摩擦実験で再現された地震性断層運動時の破壊伝播速度
溝口一生 (電中研)・福山英一・山下 太 (防災科研)・滝沢 茂 (筑波大)・川方裕則 (立命館大)

P3-42 愛媛県新居浜市および愛知県西尾市における水圧破碎法地殻応力測定 - 地下水等総合観測施設整備に伴う -
佐藤隆司・北川有一・高橋 誠・佐藤 努・小泉尚嗣 (産総研)

地球化学・地下水

P3-43 1999 年集集地震における地震動と地下水位変化との関係
比嘉万友美・中村 衛 (琉球大理)・小泉尚嗣 (産総研活断層セ)

P3-44 飯田一松川断層の粉碎起源シェードタキライトにおける鉱物学的 - 地球化学的特徴
加藤尚希 (大阪大)・本多 剛 (JR 西日本)
石川剛志 (JAMSTEC 高知)・亀田 純 (東大)・廣野哲朗 (大阪大)

地震予知

P3-45 静止衛星からの地震雲の観測による地震予知
高橋耕三 (所属なし)

P3-46 東北太平洋沖地震の前後での「規則微動」「家鳴り」の動向および新たな長大な微動と加速度センサーが捕捉した微動波形
今津美智子 (無所属: 地震くるみる)

P3-47 東北地方太平洋沖地震の宏観異常現象に関する調査 - 「三陸海岸大津波」との比較 -
織原義明 (東海大予知セ)・鴨川 仁 (東学大教育物理)
長尾年恭 (東海大予知セ)・上田誠也 (日本学士院)

P3-48 1946 年南海地震直前の潮位変化証言の検討
小林昭夫 (気象研究所)

P3-49 山陰地域で発生した主な地震の月の位相
末 芳樹 (所属なし)

強震動・地震災害

P3-50 弱い地震動を利用した建物の減衰定数の推定
鷹野 澄 (東大地震研)・豊田克博 (東大大学院工学系研究科)

P3-51 インドにおける建物常時微動観測
伊藤貴盛 (慶応大)・鷹野 澄 (東大地震研)・瀬戸一起 (東大地震研)・増田 徹 (東大地震研)
Pradeep Kumar Ramancharla・Raju Sangam・Narender Bodige・Hima Chandan Dasari (IIIT-H)

P3-52 2011 年東北地方太平洋沖地震における液状化発生率と強震継続時間の関係の検討
先名重樹 (防災科研)・若松加寿江 (関東学院大学)・松岡昌志 (東京工業大学)

P3-53 高次モードの表面波を仮定した地震計鉛直アレー記録の相分解解析
吉田邦一 (地域地盤環境研)・浅野公之・岩田知孝 (京都大)

P3-54 震源深さによる堆積盆地内の波動場の違い
有末真穂・笥 楽磨 (神戸大理)

- P3-55 スペクトルインバージョンにおける震源深さによる波形の違いの影響
笠谷直矢・笥 楽磨 (神戸大理)
- P3-56 A Preliminary Analysis on Attenuation of Absolute and Relative Velocity Response Spectra in the Period Range of 1 to 10s
Yadab P. Dhakal, Takashi Kunugi, Wataru Suzuki, Shin Aoi (NIED)
- P3-57 スペクトル比を用いたアウターライズ地震とプレート境界地震の強震動特性の比較
新村明広・高井伸雄・重藤迪子・笹谷 努 (北大)
- P3-58 確率論的地震動シミュレーション法に関する基礎的検討
糸井達哉 (東京大学)・スタフォードJピーター (ICL)・金子雅彦・佐藤一郎 (東京海上日動リスク)
- P3-59 拡散波動場理論を導入した統計的グリーン関数による水平・上下動のシミュレーション
佐藤智美 (清水建設)
- P3-60 2008年岩手宮城内陸地震の強震動生成域から生成される長周期地震動
倉橋 奨・入倉孝次郎 (愛知工大)
- P3-61 南海トラフの海溝型地震による長周期地震動ハザード評価
前田宜浩・森川信之・青井 真・藤原広行 (防災科研)
- P3-62 南海トラフにおける地形・海水層の地震動への影響:3次元シミュレーションに基づく検討
等々力賢・古村孝志 (東大院情報学環、東大地震研)・前田拓人 (東大地震研)
- P3-63 2013年2月25日に栃木県北部で発生した地震 (MJ 6.3) の震源過程
引間和人 (東京電力)
- P3-64 経験的グリーン関数法に基づく2013年2月25日栃木県北部の地震の震源モデルの推定
染井一寛・宮腰 研 (地盤研)・入倉孝次郎 (愛工大)
- P3-65 地震波形を用いた震源過程解析による気象庁の断層すべり分布のスケーリング則
長谷川嘉臣・岩切一宏 (気象庁)
- P3-66 長大活断層帯のセグメントの特徴を考慮した強震動評価のためのアスペリティのモデル化の試み
栗山雅之・佐藤浩章 (電力中央研究所)
- P3-67 震度毎の平均震央距離を用いた M_w の即時推定
飯田政勝・泉谷恭男 (信州大工)
- P3-68 強震動記録を用いた震源断層の大きさのリアルタイム推定
杉本 亘・泉谷恭男 (信大工)
- P3-69 スペクトル比法により推定したサイト増幅率を用いたリアルタイム補正
青木重樹・干場充之 (気象研究所)
- P3-70 東南海海域の海底地震計を用いた陸上での震度予測可能性の検討
林元直樹・干場充之 (気象研究所)
- P3-71 SMAC-A型強震計の動態展示と観測された強震記録
内藤昌平・功刀 卓・中村洋光・鈴木 亘・青井 真 (防災科研)